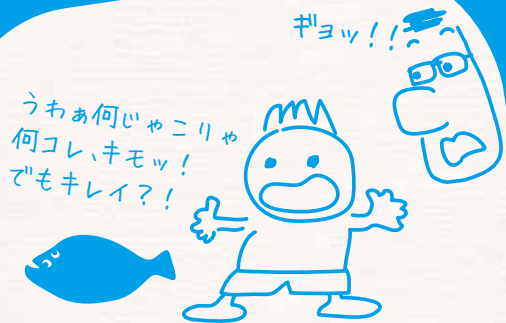


Let's 魚mmunication ちょっとしたきっかけと学びを… レッツ ぎょコミュニケーション!



うわあ何じゃこりゃ
何コレ、キモッ!
でもキレイ?!

キョッ!!

どうめいこつかくひょうほん
『これは透明骨格標本って
いうんだよ!』

エライ先生やお魚を育ててる人たちが
養殖中に死んでしまったお魚達の命を
無駄にしないように、みんなで一生懸命
考えて生まれた製品なんだよ。

これはトウメイコツカク
ヒョウホンって言って、
スゴいんだぞ。
えらい先生がだな…

はいはい、
ごほんよ〜。

魚も小さい時から
頑張ってるんだね。
大切ないのち、
残さず食べて感謝しよう!
いただきま〜す。

ふむふむ、
ちゃんと考えられた
製品なんだなあ。
なるほど、なるほど…、よし!
みんなに教えてやろう!!

とにかく今度の休み、
みんなで**お魚見**に行くぞ!

オトウサンがいろいろ
教えてやるぞ〜!

お父さん人気
完全復活!!!!

がんばれお父さん!
負けるなお父さん!!
つづく。



家族みんなの教材・コミュニケーションツールとして

この製品は、捨てられてしまう魚から、命を大切に、資源の有効活用や学び、産業・研究などの支援につながる最初のきっかけ作りとして考えられました。きれいな、不思議、気持ち悪い…。皆様ひとりひとりに湧き上がる感情を大切に、そこから『いのち、自然、つながり』多くの大切なことを、子どもや周りの人たちに、いま手に取って読んで下さっているあなたが伝えてみてはもらえませんか。

●透明骨格標本とは

筋肉を透明にし、軟骨を青色、硬骨を赤紫色に染色した観察用の標本です。主に、分類学や発生学、解剖学などで用いられ、染色を行い立体的に観察することで、骨格形成の観察や系統分類での有効な技法として現在も研究が続けられています。この技法は、多くの研究者たちの長年の成果でもあり、その成果は次の研究者へと引き継がれ社会へ、そして皆様の身の回りへと活かされています。Burdi, A.R. (1965)から「改良二重染色法」河村・細谷(1991)の発表、そして今後のさらなる発展を続けるその根底には、いのちや環境・地球を大切にするという思いがあります。

